

データ流通社会へ向けた 政府の取り組み



2018年6月1日

平本健二

内閣官房

経済産業省

情報通信技術(IT)総合戦略室

情報プロジェクト室

データ流通社会

商材としてのデータ

社内の利用

- ・機器データ
- ・顧客データ

オープンデータ



- ・データの安定供給や品質が求められる
- ・様々なサービス供給、ツール開発が求められる
- ・市場や取引ルールも必要

知識インフラ、情報インフラ としてのデータ

- ・いつでも必要な情報が希望の形で提供される
コンシェルジュ的な機能



日本の未来ビジョン: Society 5.0



Society1.0

• 狩猟



Society2.0

• 農業



Society3.0

• 工業



Society4.0

• 情報



Society5.0

• 新たな社会 (AI, IoT)

経済発展

- エネルギーの需要増加
- 食料の需要増加
- 寿命延伸、高齢化
- 国際的な競争の激化
- 富の集中や地域間の不平等

社会的課題の解決

- 温室効果ガス (GHG) 排出削減
- 食料の増産やロスの削減
- 社会コストの抑制
- 持続可能な産業化
- 富の再配分や地域間の格差是正

IoT、ロボット、AI等の先端技術をあらゆる産業や社会生活に取り入れ、
格差なく、多様なニーズにきめ細かに対応したモノやサービスを提供

「Society 5.0」へ

経済発展と社会的課題の解決を両立

S D G s みたいなものだな



デジタル社会に向けての戦略・方針・計画

Society5.0

未来投資戦略

統合イノベーション戦略

世界最先端IT国家創造宣言(IT戦略)[2017-5-30]

デジタル標準化(語彙、コード、文字等)、API

官民デジタル活用推進基本法基本計画[法律:2016-12-19、計画:2017-5-30]

- 相互連携として、自らの情報システムに係る規格の整備の確保、業務の見直し等(他に必要な措置(基本法第15条))
- システムの相互連携の確保のための基盤の整備(他に必要な措置(基本法第15条))
- データ連携のための準備(基本計画)

デジタル・ガバメント推進方針、実行計画[方針:2017-5-30、計画:2018-1-16]

- サービスデザイン
- 官民連携を実現するプラットフォーム
- 文字情報基盤、行政データ連携標準、共通語彙基盤

オープンデータ基本方針[2017-5-30]

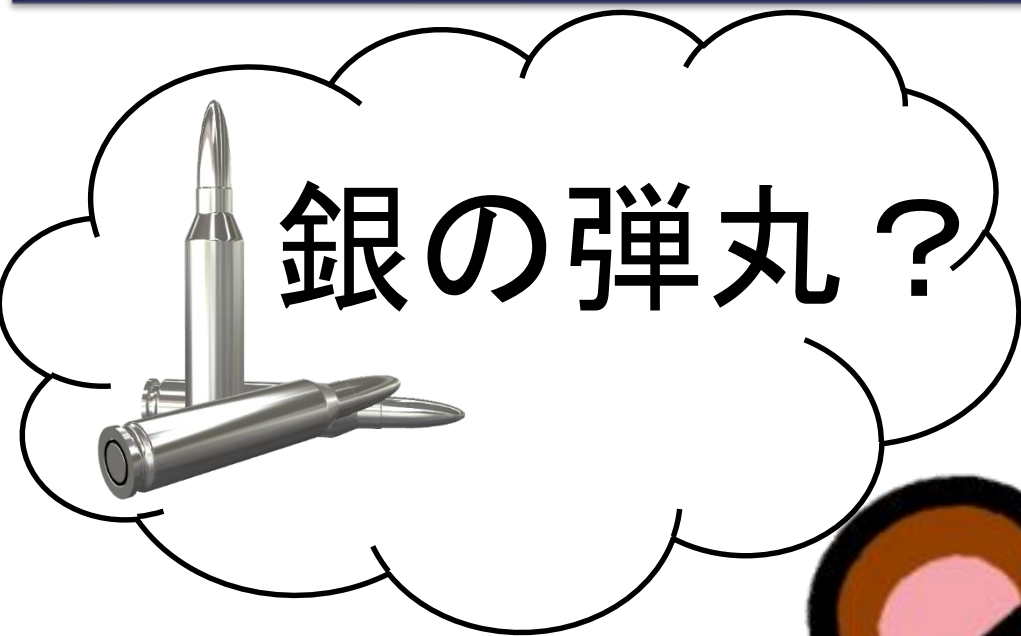
- 公開データの形式等



気が付いてみれば、超人気者

わからん??





○日本発のシーズを破壊的イノベーションにつなげ、ゲームチェンジを興すために

- イノベーションの国際競争に後れを取らないスピード
- 最先端の研究を融合し新分野を開拓する環境
- 基礎研究から社会実装までを一気通貫して推進する仕組みが必要

○スピード感のある一貫した施策の遂行には、

- CSTIが、イノベーションの観点から、多数ある会議を統合した司令塔となり、その主導の下、
- 国際競争の中で我が国が占めるべき立ち位置を明確にし、
- 政府全体で整合性のある統合的かつ具体的な戦略が不可欠

○この戦略の実現には、卓越した研究力と研究基盤が不可欠

- 過去のしがらみを取り払い、優秀な研究者が存分に力を発揮できる大学改革
- 司令塔の下で、AI技術やデータ連携基盤等の研究情報基盤の整備を推進

等を抽象論ではなく具体的な取組を示すことにより、実行力を向上

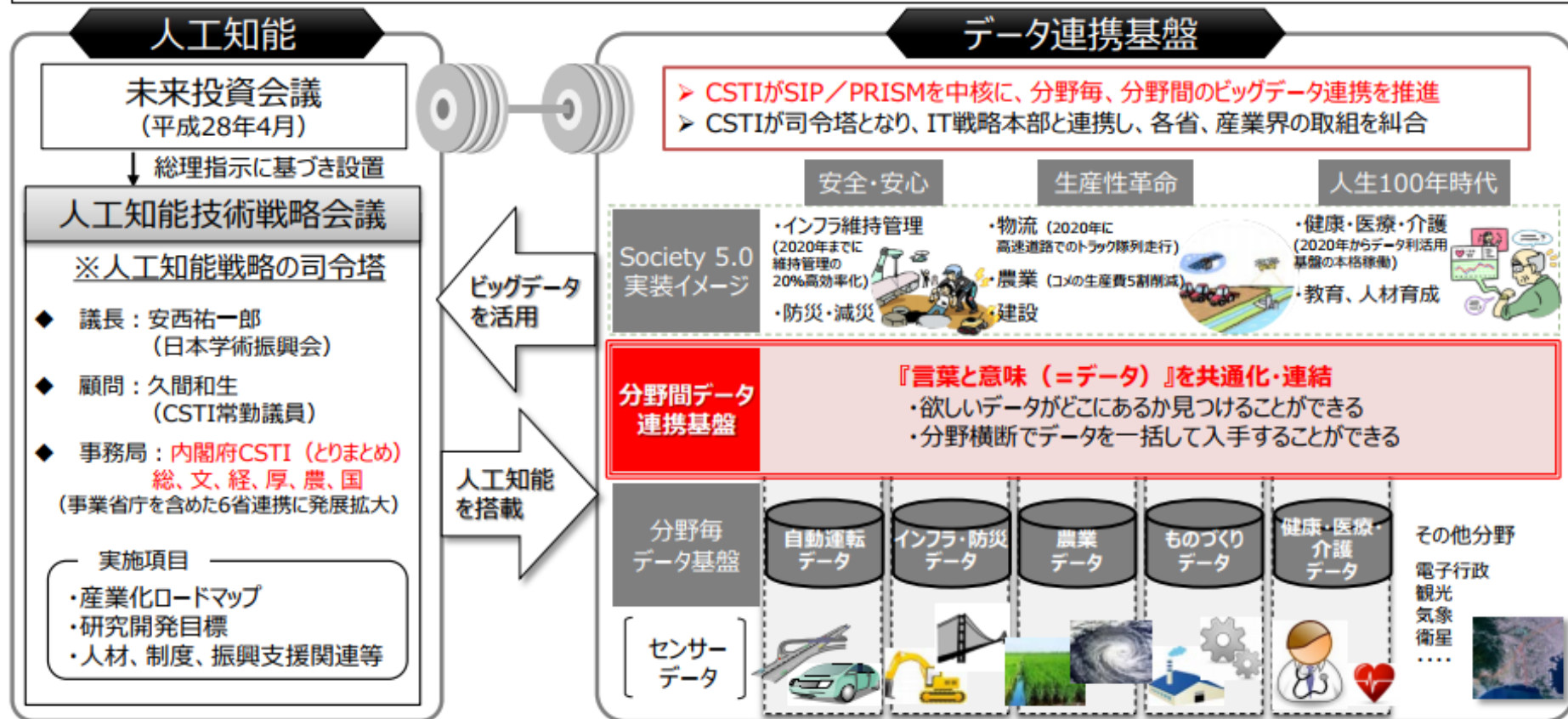


世界に先駆けてSociety5.0の本格実装へ

Society 5.0の本格実装 ～ データ連携基盤の整備～

資料1-5

- Society 5.0の本格実装に向け、CSTIが司令塔機能を発揮し、データ連携基盤の取組みを推進
- 「人工知能」とビッグデータを共有・活用する「データ連携基盤」はSociety 5.0実現のための両輪
 - ※ 欧米は、政府公共データを中心に様々なデータが繋がる仕組みを構築しつつあり、「データ連携大競争時代」が到来
 - ※ 日本は、各省、産業界の取り組むデータベースがバラバラなため、データ連携の仕組みの構築が急務

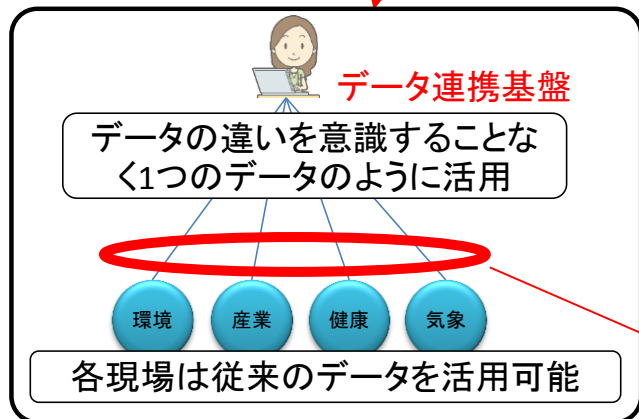
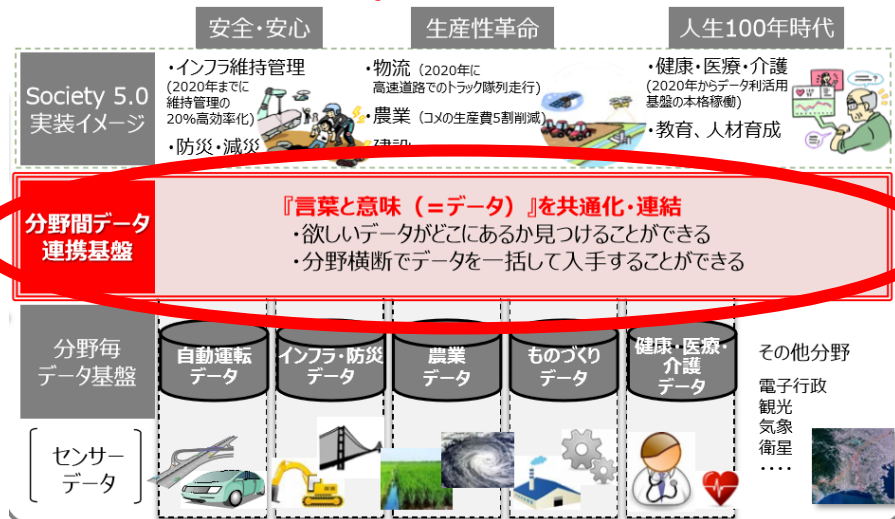


- 世界に先駆けて人工知能を搭載し、あらゆる分野のデータが垣根を越えて繋がるデータ連携基盤を構築
- あらゆる分野から融合したビッグデータと人工知能を活用し、安全・安心、生産性革命、人生100年時代に大きく貢献

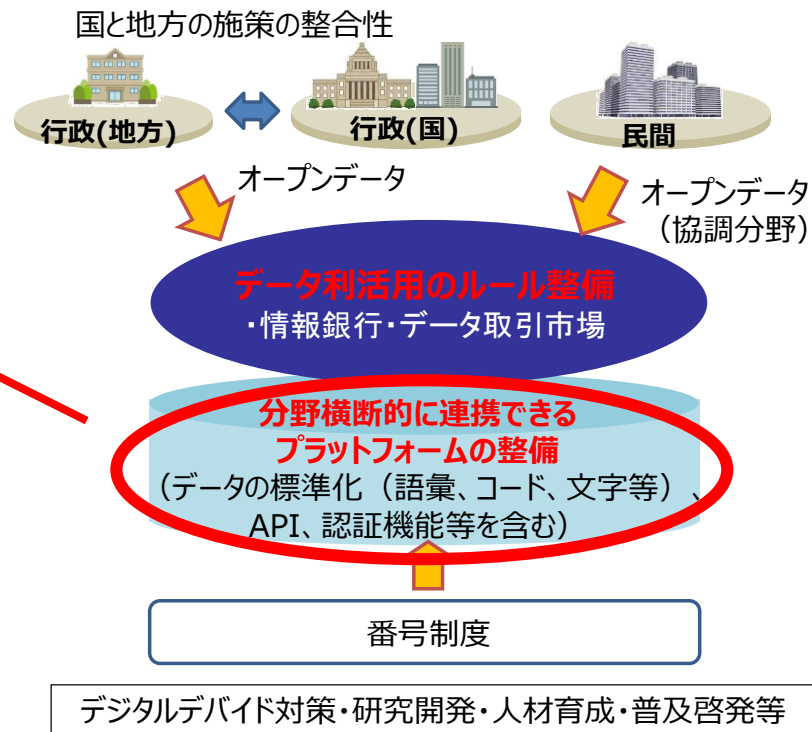
Society5.0を支えるIT戦略

- データ連携基盤は、分野横断データを連携させるだけではなく、AIやデータ解析の基盤であり、競争力の源泉として主要国で強力に推進されている。
- Society5.0の一環としてCSTI事務局と連携して推進中。

Society5.0の基盤

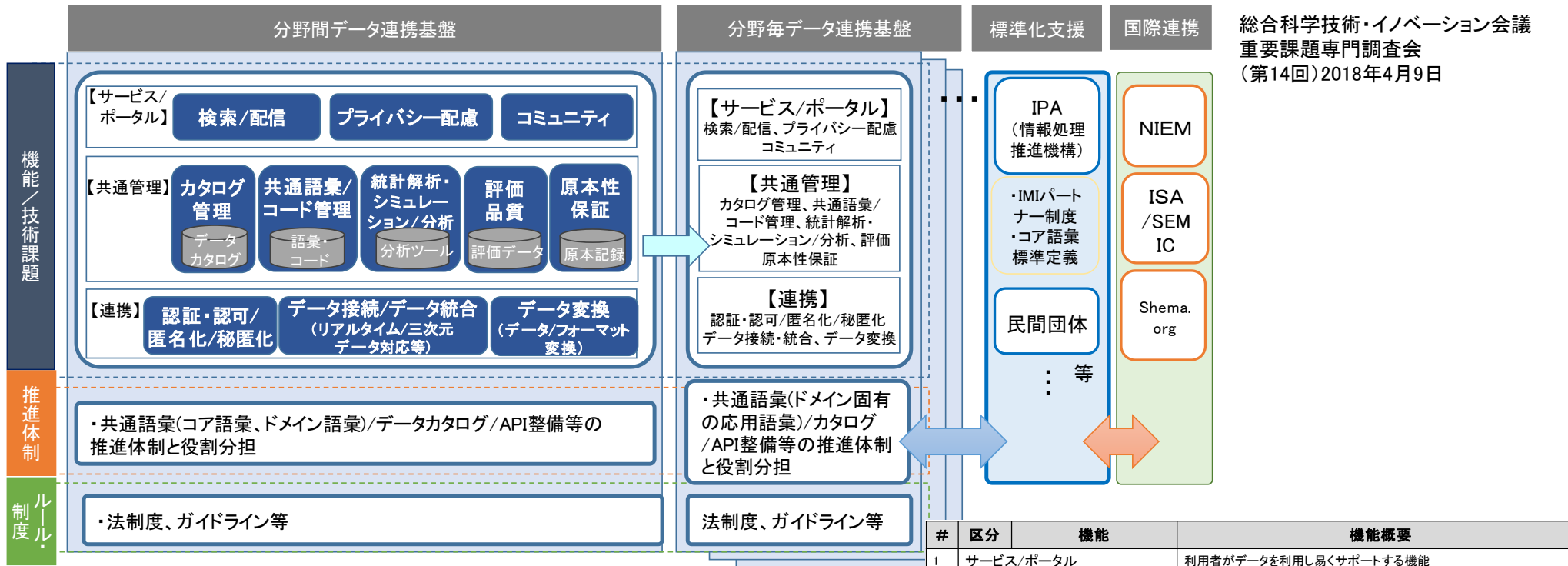


官民データの連携基盤



データ連携基盤の先進例としてエストニア政府のxRoadが注目されているが、データ法がありデータが標準化されていることが真のポイント。

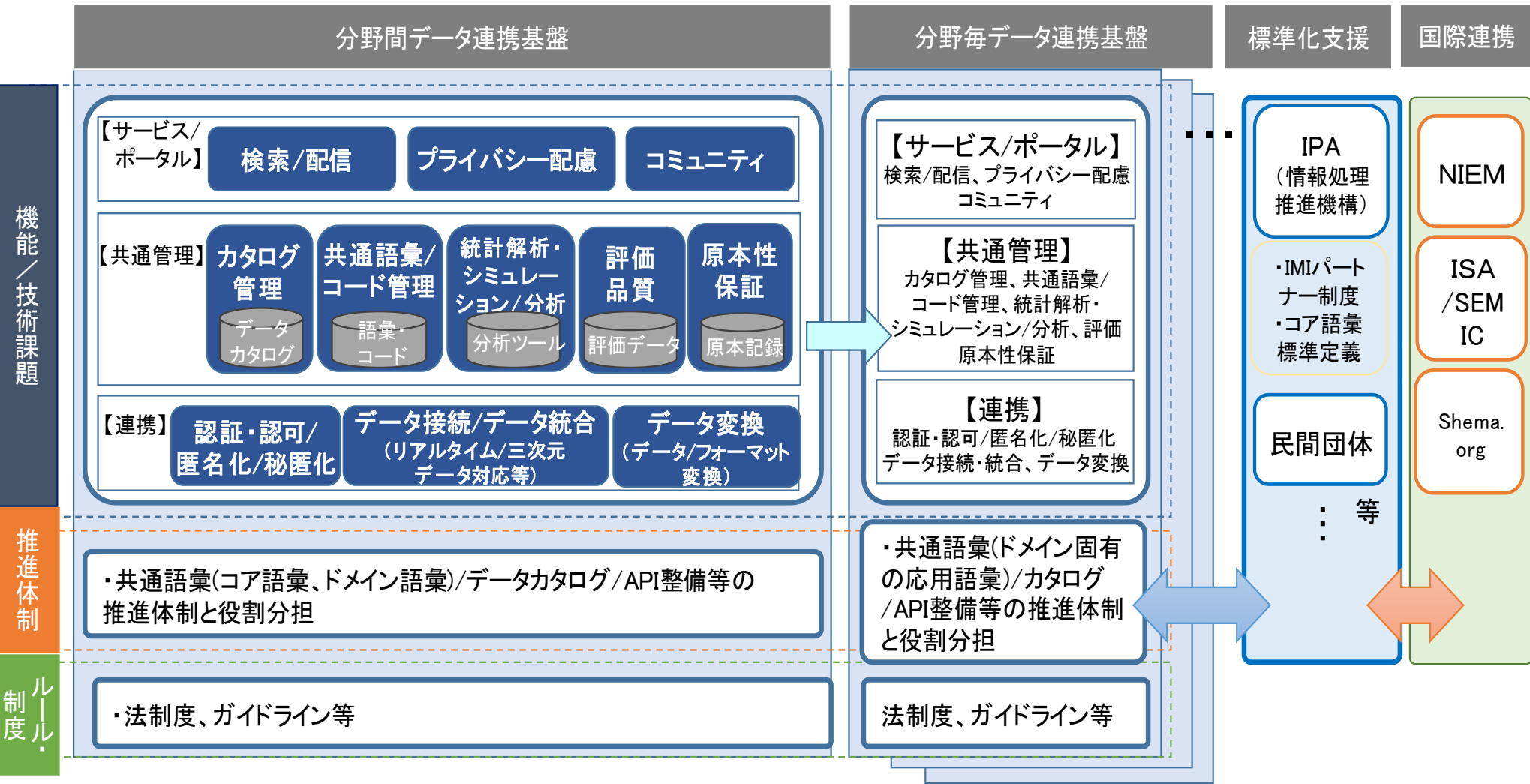
分野間データ連携基盤の整備に向けた方針



総合科学技術・イノベーション会議
重要課題専門調査会
(第14回)2018年4月9日

■ 各種機能の開発及びアプリケーションによる実証を実施予定

#	区分	機能	機能概要
1	サービス/ポータル		利用者がデータを利用し易くサポートする機能
2		検索/配信	あいまいなキーワードにて検索し、複数分野のデータを集めて配信 IoTデータへの対応も含む
3		プライバシー配慮	プライバシーに配慮し、オフイン・オフアウト・データ利用目的の追加 等の利用者・提供者とのやり取りの場を提供・記録
4		コミュニティ	利用者同士の意見交換・イノベーション協創(共同研究等)等の場を提供
5	共通管理		データ検索や連携のためにデータ連携基盤が管理する機能
6		データカタログ管理	データカタログ(データの名称、作成者、作成日など)を登録、更新
7		共通語彙/コード管理	データを共通項目名等に揃えるための語彙/コード情報を登録、保管
8		統計解析・シミュレーション/分析	分野共通のシミュレーションや相関等分析(EBPM向け相関分析含む)
9		利用者・提供者評価/データ品質基準	利用者・提供者の相互運用性、信用度等やデータの品質(完全性、正確性、有用性、最新性等)等の評価値を記録・更新。認証機能と連携しアクセスを制御
10	連携	原本性保証	各分野で発生するデータの原本性を保証。データ流通品質を担保
11			データ利用者の要求に応じて、データ提供者のデータを応答する機能
12		認証・認可/匿名化/秘匿化	提供者、利用者の認証、データ匿名化、暗号化等
13		データ接続	データ提供者、利用者との接続を行う機能。(センサデータ等のリアルタイム接続、三次元データ接続も含む)
14		データ変換	データの単位、座標系、項目名等及びデータフォーマットを揃える機能



今後のIT新戦略の策定に向けた基本方針(概要)

「ITを活用した社会システムの抜本改革」

デジタル化3原則（デジタルファースト、ワンスオンリー、ワンストップ）を徹底。

持続的に発展し、豊かな社会を実現するための
効率的な社会システム

行政サービスのデジタル改革断行

取組の横展開

- ・ 民間部門のデジタル改革 及び
IT・データ活用ビジネスの推進
- ・ 地方のデジタル改革(全国展開)

「デジタル化 → オープン化 → 社会で使える基盤の提供」の3ステップで実現

(1) 行政サービスの100%デジタル化

1. サービス提供者の視点から手続、業務フローを徹底的に見直し、100%のデジタル化を目指し、あらゆるサービスが最初から最後までデジタルで完結する社会を実現 → デジタルファースト関連一括整備法案も視野に、法令の見直し。
2. マイナンバー制度等を活用し、多くの手続で添付が求められている登記事項証明書（商業法人）や戸籍謄抄本などの添付を不要とするためなどの所要の法令改正作業に関係閣僚が直ちに着手。
3. 社会保障・税手続における提出書類のデジタル化・民から官へのデータ連携

(2) 行政保有データの100%オープン化

1. 行政保有データの原則オープンデータ化を徹底し、データを活用したイノベーションや新ビジネスの創出を後押し。
2. 平成29年度中に官民ラウンドテーブルを開催し（観光・移動分野等）、民間ニーズに対応したデータのオープン化を加速。
3. 行政保有データの棚卸リストを公開し、潜在的な公開ニーズを掘り起こし、オープンデータの取組を深化。
4. オープンデータでのデータ標準の活用。

(3) デジタル改革の基盤整備

1. 国・地方公共団体・民間等の全てが、デジタル改革・データ連携に取り組む上での基本ルールを構築。
→ 語彙、コード、文字等の標準化
2. 先行した分野でのデジタル改革・データ連携を実施。データ利活用による社会システムの抜本改革のベストプラクティスを創出。
3. 基盤が活かせるようにするための関連ルールの整備

デジタル・ガバメント実行計画 主な取組

横断的施策による「行政サービス改革」の推進

【デジタルファースト】

(1) 行政サービスの100%デジタル化

- 各種手続のオンライン原則の徹底
- ✓ 手続毎に業務改革（BPR）、システム改革を実施の上、行政サービスのデジタル化を徹底する
- ✓ 押印や対面等の本人確認等手法の在り方を再整理
- ✓ 多様な端末で利用な文字環境の在り方を再整理
- ✓ 民－民手続についてもオンライン化に向けた見直しを実施

【ワンストップ】

- 行政手続における添付書類の撤廃
- ✓ マイナンバー制度等を活用し、既に行政が保有している情報は、添付書類の提出を一括して撤廃
- ✓ 添付書類を一括して撤廃するための法案を可能な限り速やかに国会に提出
 - ・ 登記事項証明書、住民票の写し・戸籍謄抄本等の提出不要化

【ワンストップ】

- 民間サービスとの連携も含めたワンストップ化を推進
- ✓ 主要ライフイベントである以下を先行分野として推進
 - ・ 引越し、介護、死亡・相続

【政府情報システム改革の着実な推進】

- ✓ これまでの取組により、約1,118億円の運用コストの削減を見込んでいる。改革を引き続き推進し、システム数の半減、運用コストの3割削減を達成

各府省計画の策定と個別分野のサービス改革

【各府省中長期計画の策定】

- ✓ 各府省のITガバナンスを強化し、各種取組を推進するため、各府省におけるデジタル改革の中長期計画を平成30年上半期を目途に策定

【個別分野におけるサービス改革】

- ✓ 「行政手続等の棚卸」等を踏まえ、個別分野で先行的にサービス改革を推進

【オープンデータの推進】

(2) 行政保有データの100%オープン化

- オープンデータ・バイ・デザインの推進
- ✓ オープンデータを前提とした業務・システムの設計・運用の推進
- ニーズの把握と迅速な公開
- ✓ 民間事業者等との直接対話を通じた民間ニーズの把握とこれに対応したオープン化の加速
- ✓ 推奨データセットに基づくデータ公開の推進

【行政データ標準の確立】

(3) デジタル改革の基盤整備

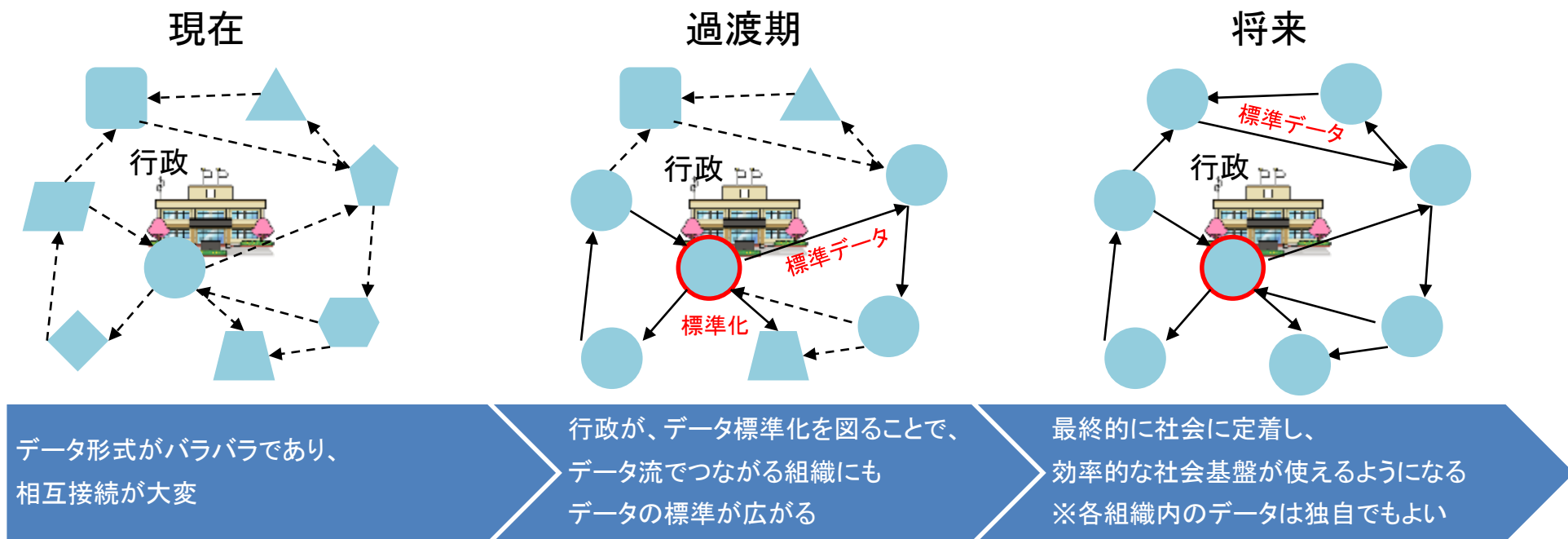
- 行政データ連携標準の策定
- ✓ 日付・住所等のコアとなる行政データ形式について、平成29年度末までにデータ連携の標準を策定
- 語彙・コード・文字等の標準化、環境整備
- ✓ 施設・設備・調達等の社会基盤となる分野について、語彙・コード等の体系を共通語彙基盤として整理
- ✓ データ品質まで含んだデータ活用、流通のルールを整理

【法人デジタルプラットフォームの構築】

- ✓ 複数手続を一つのIDで申請できる認証システムの整備や法人インフォメーションの活用等を通じ、データが官民で有効活用される基盤を構築

行政におけるデータ標準化の重要性

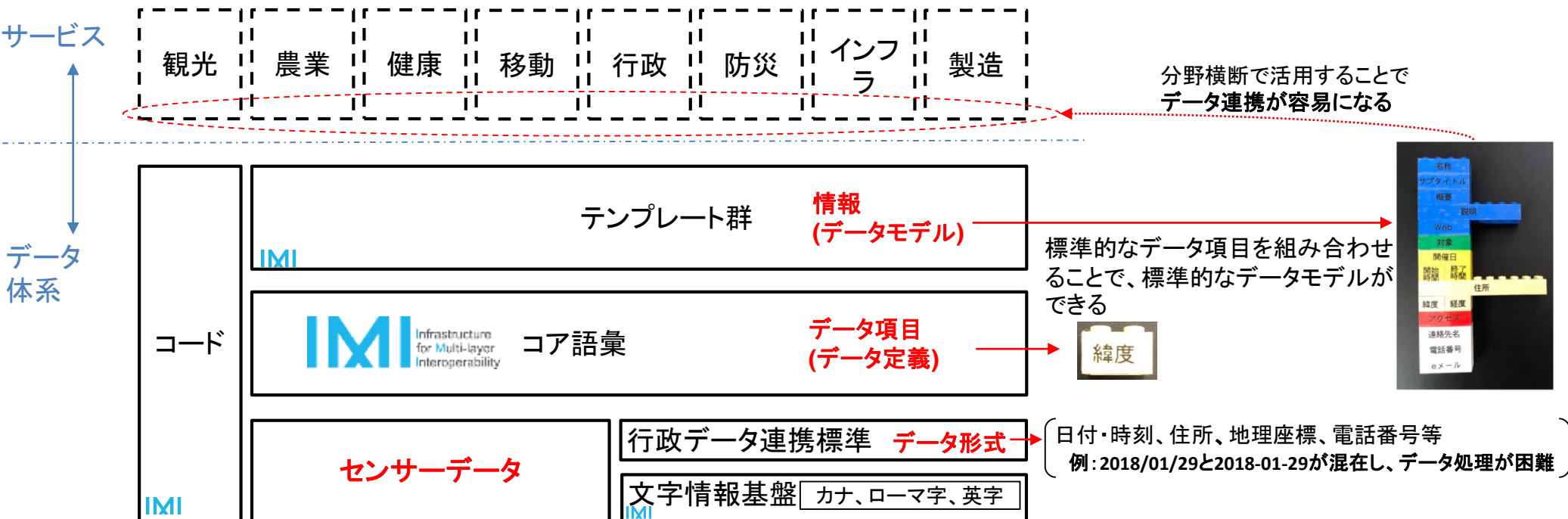
- データ駆動型の社会を作るには、データのインターオペラビリティの確保が重要であり、その核になるのがデータの標準化。
- 申請・届出文書、公開情報の標準化を通じて、データの標準を広げていく。



- オープンデータも標準化することにより、申請系だけではなく、行政データを活用したアプリケーションにも波及させることが可能。

IT総合戦略室が推進するデータ体系

- 社会全体でデータ利活用するためには、基本データから積み上げた体系の中で相互運用性を確保していく必要がある。



※1 IMI は、デジタルガバメントで推進している共通語彙基盤の略称。国際連携も実施中。

※2 データを扱うためのツール体系、データ品質は確保するための品質体系も整備していく必要がある

- データ体系は機動性の高い社会システムを作るための必須の基盤である。

データ設計(スピード向上)

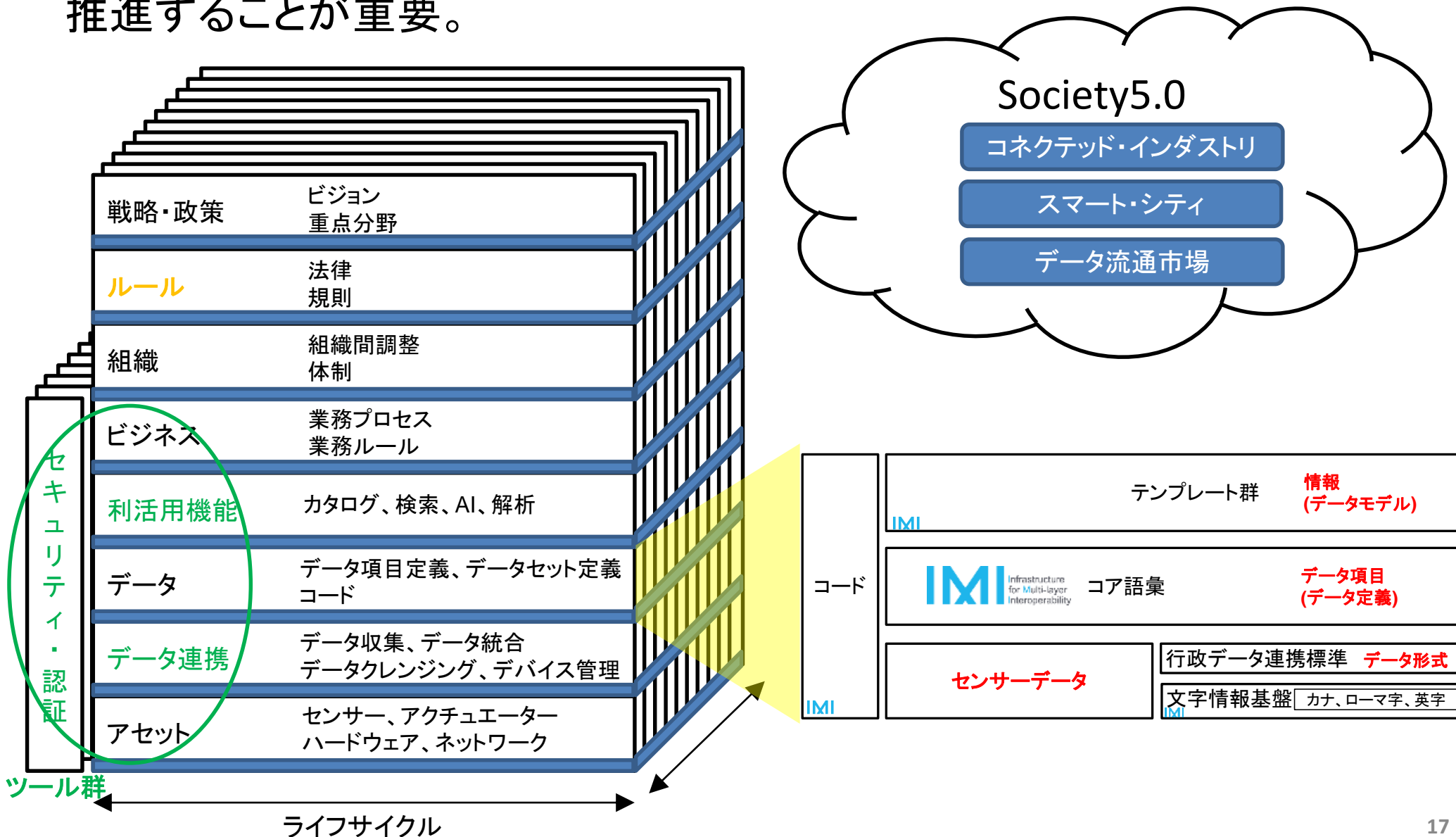
行政内活用(EBPM)

オープンデータ

※ 全体でコスト削減も実現

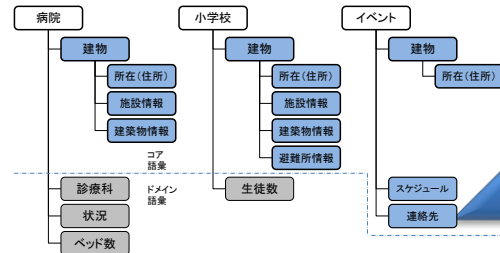
Society5.0 参照モデル

- データと並行してルール整備、ツール整備が重要であり、全体体系として推進することが重要。



データ活用を行うための4ステップ

- データの価値を高めるためにはデータ連携標準を使った段階的な取り組みが必要



見つけられ
ること

使いやすい
こと

自動処理で
きること

AI等で解析
ができること

データの内容が精査され

データが項目に分かれて
いると自動審査ができる

データの各項目を使って
様々な分析が可能

- ・AI技術
- ・ビッグデータ解析技術

・RPA技術

2018.05.21 経済・財政 行政・自治体 web

エンジニアが殺到！経産省が極秘にはじめた「電子政府計画」の本気度

一体、なにをするつもりなのか

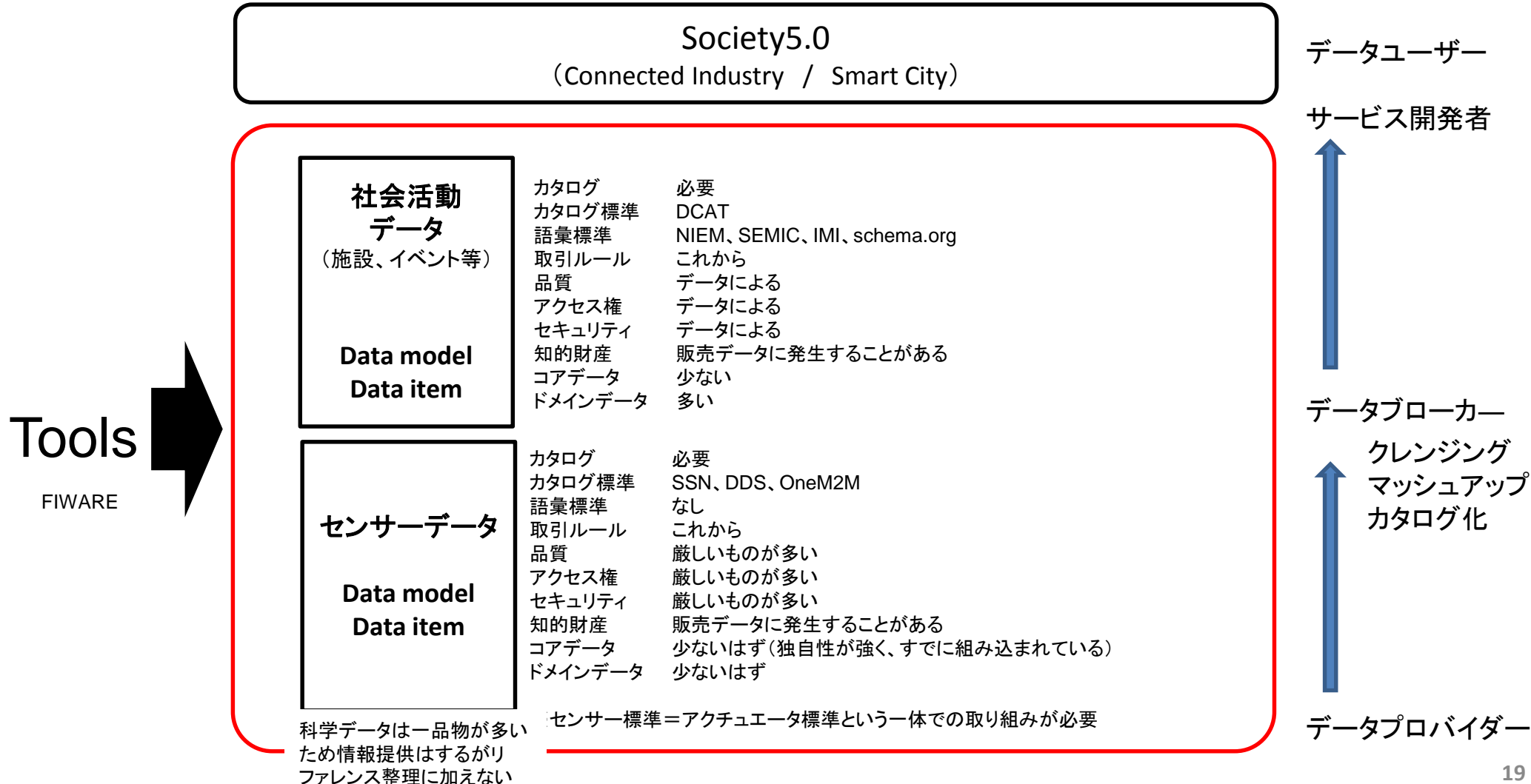
By 現代ビジネス

業務高度化を実現

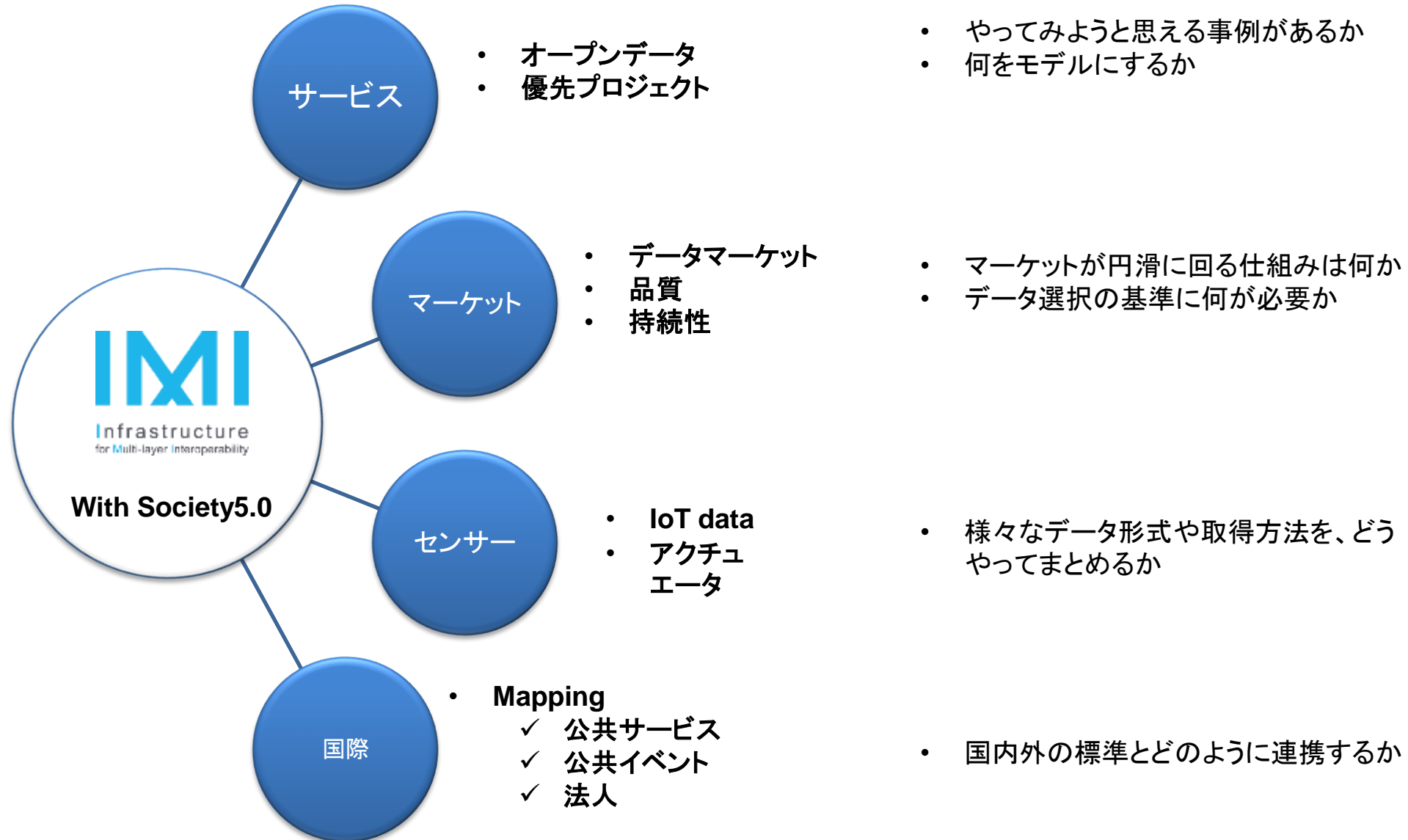
必要なデータを
入手可能

IoTデータへの展開

- 行政データを中核に進めてきたが、行政でのIoT活用や行政データとIoTデータを組み合わせた活用も増加してきたことを受け、IoTデータの相互運用性についても検討を開始。



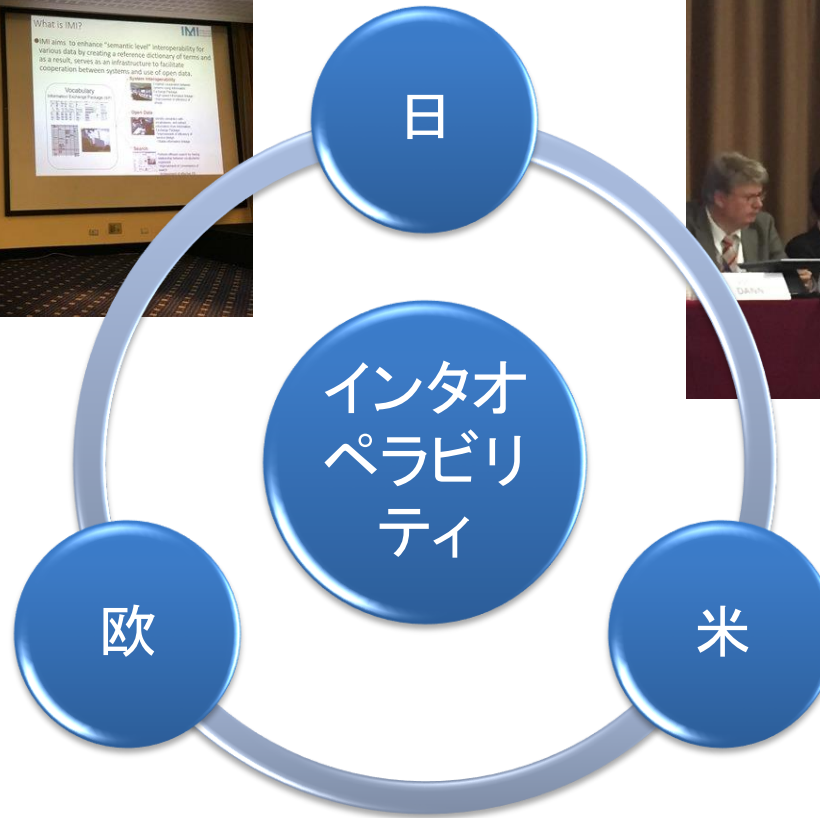
新たなステージへの挑戦



国際的なインターオペラビリティの実現



IMI Infrastructure
for Multi-layer
Interoperability



< NIEM >
NATIONAL INFORMATION EXCHANGE MODEL

SEMIC 2018

Sofia, Bulgaria
2018-6-14

夏やすみ スペシャル企画





見学・体験へGO!!!



蔵に秘蔵のデータ



国土交通省
国土交通省
財務省
農林水産省
農林水産省
関東農政局
環境省
外務省
近畿経産局

東京都
東京都
東京都
神奈川県
神奈川県
埼玉県
埼玉県
千葉県
千葉県
千葉県
横浜市
横浜市
千葉市
さいたま市

全国の見学施設
インフラツーリズム ポータルサイト
財務省関連施設の見学申込みサイト
全国農林漁業体験スポット一覧
全国工場見学・市場見学一覧
食・農業体験受入れ施設一覧
探そう自然体験
国内視察スポット
関西の見学可能な産業施設ガイド

イベントカレンダー
伝統工芸品見学・体験工房
インフラポータルサイト
体験学習
リンク集神奈川県内の科学館・博物館など
グリーンツーリズム埼玉
彩の国工場
イベントカレンダー
千葉県夢チャレンジ体験スクール
体験・イベント情報
イベント
横浜「学習・体験」ガイド
イベントカレンダー
イベントカレンダー

学ぶ
ふれる・感じる
体を動かす
奏でる
乗る
見る
作る・描く
収穫・採集する
その他



就学前
小学生低学年
小学生中学年
小学校高学年
中学生
高校生以上
その他



葛飾



8/20



いいもん見つけたぜ。
いえい！

一緒にやる人 大募集

プロジェクトを持ち込んで



みんなで作ろう



Social Hack Day

by  CODE
for JAPAN



6月30日 10:30～18:00@SENQ霞が関



はじめての人大歓迎！